

「あこがれの自分を目指して ～共に歩む！一人でも翔ぶ！～」

平成29年度 柳津町立西山中学校

学校だより

平成29年9月29日(金)発行 第 23 号 発行責任者:高橋 弘悦

女子団体連覇！ 有終の美飾る



27日に行われた両沼中体連新人大会バドミントン大会で、女子団体が見事優勝を勝ち取り、連覇を達成しました。

また、1年女子シングルスで金子 紬さんが優勝、女子ダブルスで、渡部未蘭さん・渡部美空さんペアが準優勝、金子 花さんが第3位に入るなど、7人で参加した学校とは思えないほどの活躍を見せてくれました。

男子は残念ながら団体メンバーを組めず、加えて体調不良により1名欠席でしたが、オープン参加でダブルス一試合を行い、善戦しました。

過去には「バドミントンといえば西山中」といわれるほど伝統ある西山中学校ですが、今年度をもって閉校となります。輝かしい歴史に恥じない成績を残してくれた選手諸君に敬意を表したいと思います。

女子団体はしびれる試合

新メンバーの加入により、春の大会では戦力が大幅にアップした新鶴中が初戦。春の大会では涙をのみましたが、これを見事に撃破。リベンジを果たすことができました。

次戦は、一勝で並んだ坂下中学校。これに勝利できれば連覇達成となります。ダブルス、シングルスを終えて一勝一敗。勝負は第二ダブルス同士の結果次第になります。

意地と意地とのぶつかり合いは最終セットまでもつれ込み、最後の最後まで集中力を切らさなかった本校の勝利で終わることができました。

試合をしている当事者はもちろんですが、見ている方も一球一球に一喜一憂するしびれる試合となりました。でも、このようなしびれる試合ができるのも、そのレベルに達しているからこそ体験できることです。これを繰り返して、技術もメンタルも強くなっていくんだろうと、本校選手の確かな成長に感動していました。

全会津大会は、10月7、8日の両日、下郷町大川ふるさと公園コミュニティーセンターにて行われます。応援よろしくお願いします。



気持ちのよいあいさつが展開されています

新人戦の日は3年生は実力テスト！こちらも日頃の努力の成果を発揮しようと奮闘していました。後輩に負けない戦いをしてくれたのではないかと思います。

翌日の1、2年生の教室には、写真のような温かいメッセージが残されていました。3年生の温かさが伝わってきます。

3年生といえば、先週頃からあいさつが大変ていねいです。朝はわざわざ職員室、校長室にまで来てあいさつしてくれます。このようなときには、1日1日がとてもすがすがしく、気持ちよく過ごすことができます。「あいさつってすごいんだなあ」と心から実感し、そのような気持ちにさせてくれた3年生に心から感謝したものです。

「あいさつは大切」とは先生方も、よその学校でもいいます。あらためて気持ちのよいあいさつをされて「この生徒たちを心から応援してあげたい！」って心から思いました。

今、西山中学校として思いっきり輝き、その勢いで新しい中学校をどのような学校にしていくのかを模索している時期です。1、2年生の部活動での輝きと共に、3年生の気持ちのよいあいさつを受けて、こういう試みが伝統になればいいなと、密かに思っている次第です。

